

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年2月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: California State University, Long Beach
留学期間	2018年8月～2018年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年1月10日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期: 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	37,000人
創立年	1949年

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	6400	約70万円	
宿舍費	3900	約42万円	シェアハウス・一人部屋
食費	1500	16万5000円	
図書費	約100	11000円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	800	88000円	
医療費	0	0円	
保険費	約850	94000円	形態:明治大学、現地大学指定の保険
渡航旅費	約1175	13万円	
雑費	約2260	25万円	旅行費等
その他	0	0円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
合計	16985	約188万円	

## 渡航関連

渡航経路:NRT-LAX

渡航費用

チケットの種類	シンガポール航空
往路	65000 円
復路	65000 円
合計	13 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

Expedia

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

アパート

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

現地に住んでいる親戚の紹介

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ルームシェアをする人はルームメイトと家のルールをあらかじめ決めておくべき。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学中に出来た友人など、ちなみに相談窓口はあった。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

インターネットや現地の人たちに聞いたりしていました。夜間の時間は一人で外出しないこと。日本にいる家族と連絡をこまめに取ること。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校や居住先だけでなく、飲食店やショッピングモールにも無料 Wi-Fi が完備されていて、接続も特に問題はなかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地に日本円を持って行き、銀行で換金してもらった。同時に銀行口座を開設し、換金したお金を口座内に保管していた。デビットカードで支払いを済ませることが多かった。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

インスタント食品(味噌汁など)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

小切手を用いて、直接大学で支払った。

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
リクナビとマイナビを活用
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
マーケティング、コンサルティング
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
一つの業界だけに絞るのではなく、視野を広くして多くの企業を見た方がいいと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intercultural communication	異文化コミュニケーション
科目設置学部・研究科	COMM
履修期間	1学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Jessica Abrams
授業内容	異文化間の共通点及び相違に対する理解を深める
試験・課題など	試験×3, レポート×1, 授業内小レポート×1
感想を自由記入	多様性が溢れるアメリカでこそ異文化の理解を深められる講義を受け、非常に気づけさせられる部分が多かった。また、試験×3が成績に占める割合が大きいため、試験勉強は重点的にした方がよい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Skills Methods Global Ldrshp		グローバルリーダーシップのためのスキルと方法	
科目設置学部・研究科	I/ST		
履修期間	1学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式、グループワーク(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に50分が2回		
担当教授	Babs Grossman-Thompson		
授業内容	国際的に活躍できるような人材になるために必要なスキルやその習得方法を学習する		
試験・課題など	各週に出される課題,グループプロジェクト,週1回のオンラインディスカッション		
感想を自由記入	出席と課題提出が大事な講義であった。グループプロジェクトを通し、改めてチームワークがいかに重要であるのかということに気づいた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Digital Marketing and Media		デジタルマーケティングとメディア	
科目設置学部・研究科	MKTG		
履修期間	1学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式、グループワーク(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に165分が1回		
担当教授	Scott W.Flexo		
授業内容	消費者行動におけるメディアの役割やマーケティング戦略を企て方などを深く理解する		
試験・課題など	試験×3,毎週出される課題,プレゼンテーション,グループプロジェクト		
感想を自由記入	試験の難易度は高いが、講義内容をしっかり復習すれば問題ない。プレゼンテーションはグループで行われるので、役割分担が重要である。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
News Writing and Ethics		ニュースライティングと倫理	
科目設置学部・研究科	JOUR		
履修期間	1学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Elizabeth Sanchez		
授業内容	ジャーナリズムにおいて、その業界の常識とニュースの書き方の基本とルールを学習する		
試験・課題など	オンライン上で受ける試験×2,毎週出されるレポート,グループプレゼンテーション		
感想を自由記入	英作文の書き方を基本から学ぶことができた。ネイティブの先生だからこそ、文法や回りくどいところを指摘してくれて良かった。		

## 留学に関するタイムチャート

2017年 1月～3月	
4月～7月	情報収集
8月～9月	情報収集
10月～12月	出願、選考
2018年 1月～3月	出願書類の製作、ビザ申請
4月～7月	授業決め、住宅の手配、奨学金の申請、航空券の購入
8月～9月	オリエンテーション、出国、秋学期開始
10月～12月	授業、中間テスト、期末テスト
2019年 1月～3月	帰国、帰国手続き、就職活動
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	高校二年生の頃にオーストラリアに修学旅行で行ったことが留学をしたいと思いますきっかけです。渡航前は現地の人とちゃんとコミュニケーションを取れるかどうか心配でしたが、いざ現地に行ってみると現地の人々はとても暖かく迎えてくれて、私の拙い英語を一つ一つ汲み取ってくれたことがとても嬉しかったと感じました。この一連の出来事のおかげで、言語や生活が不慣れな環境に自分の身が置かれたとしても、自分の行動次第で物事が上手くいくのだと確信し、留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力を向上させることがまず重要であると感じました。例えば私が留学していたアメリカを例に挙げると、英語の文法や読解力だけでなく、留学前にいかにコミュニケーション能力を磨けられるかが今後の留學生生活を豊かにさせる決め手になるのだと思いました。また、毎月の予算を食費、娯楽費、被服費、交通費などに細かく振り分けることで、無駄な浪費を前もって防ぐことができ、その月に使用した費用を簡単に計算することもできると思いました。
この留学先を選んだ理由	まず、アメリカを留学先として決めた理由はその多様性にあります。多種多様な人種、文化的背景、考えなどが日本とはまた異なるあり方で成り立っているのだと思ったため、実際にアメリカに行き、その違いを自分の目で確かめて実感したいと考えたからです。そしてカリフォルニア州立大学ロングビーチ校を選んだ理由としては、幅広い学部が設置しているため、一つでも多くの学習分野を広げたいと同時に、一つの学問を究めてみたいと思ったからです。
大学・学生の雰囲気	大学内は非常に大きく、さらに開放的であり、いろんな校舎が至る所に設置されています。留学当初の時は地図を片手に目当ての校舎を探していました。また、校舎だけでなく、大学内ではスターバックスやフードコートなどがあり、校内にいる限り食事には困らなかつたです。多種多様な学生たちが在籍しており、人種や国籍、在学形態（交換留学、短期留学、正規留学、学部生、大学院など）も様々であったのが特徴的でした。セキュリティの面でも校内に学生が多くいるので、人通りが少ないから危険だなといったような感じはありませんでした。
寮の雰囲気	寮には入ってないです。
交友関係	留学当初は自分の英語に自信がなく、人と話すことに対して躊躇していました。しかし、友人の紹介で国際交流クラブのイベントに参加し、そこから人脈がどんどん広がっていきました。そのクラブでは学生だけでなく、大人の方々も所属されているので、人生観を話し合ったり、日曜日に教会に連れて行ってもらったりなど、非常に深い関係を築けました。また、友人の友人など、共通の友達と知り合うことで、さらに広い友人関係を築くことができました。
困ったこと、大変だったこと	留学中に困ったことにおいて、語学面もそうですが生活面では自炊が大変でした。私は現地でルームシェアをしていたので食事は基本的に自炊をしていました。日本では実家暮らしであったため料理経験はほぼ初めてであり、最初の頃は献立を考えたり実際に調理することが大変でした。また、出来るだけの出費を抑えたかったため、食材を購入する際は毎回予算を決めていました。課題や試験が立て込んでいる時はどうしても自炊に割く時間がないため、外食やインスタント食品を食べることが多く、栄養バランスが偏りがちな時もありました。
学習内容・勉強について	私は4つの授業を取っており、それぞれコミュニケーション学、マーケティング、ジャーナリズム、国際学と異なる学問を専攻していました。どの授業にも共通して言えることは学生たちが授業中に積極的に発言していたり、教授に質問をその場で聞いていたことです。講義に対して受け身になってしまう傾向がある日本の学生とは異なり、学習そのものに対して前向きな姿勢を持つ学生が現地には多いのだと実感しました。このように彼らの学習への取り組み方を見ていると、自分のモチベーションも上がり、一層勉強に励みました。

課題・試験について	課題や試験はもちろん授業によってそれらの形式や成績に占める割合などが異なっていました。課題は毎週出されることがほとんどであり、週をまたぐにつれてその難易度が次第に上がっていきました。また、個人とする課題だけでなく、グループで取り組む課題を出されることもあったため、役割分担やミーティングの時間を設けたりなど、グループメンバーに対する協調性やグループ内での積極性などが必要になってくるのだと思いました。
大学外の活動について	大学外では学内の国際交流クラブで知り合ったと友人たちと週末に開催される多文化フェスティバルに行ったり、カヤックが出来るプログラムに参加したりなど、地域のイベントに積極的に出向いていました。また、日曜日には知り合いの方にキリスト教の教会に連れて行ってもらい、ミサも体験することができました。日本は無宗教の国であるので、キリスト教徒が多くを占めるアメリカで、キリスト教にまつわる行事に参加することができて非常に新鮮でした。
留学を志す人へ	「留学」という経験は必ずあなたの長いようで短い学生生活を豊かにさせます。新しい環境や出会いがきっと人生のインスピレーションとなり、あなたのさらなる成長を促してくれると思います。留学するにあたって一番重要なことはいかにモチベーションを持続させることです。そのため、留学中での目標設定が大事であると思っています。「なんとなく」の気持ちで留学に行くのでは身につくものも身につけません。あらかじめ目標を定めておくことで自分は何をすべきか、何をしたいのか、というような疑問が明確に分かってくると思います。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
		授業	授業	授業	自習	自習	自習
午後	自習	自習	自習	自習		自習	自習
		授業	自習	授業			
夕刻	クラブミーティング	自習	授業	自習	クラブ交流会	自由時間	自由時間
夜					クラブ交流会	自由時間	自由時間